

品川区議会 区政報告 会派便り

木村 健悟 (無所属) Report Vol. 005



災害協定を結んでいる 岩手県 宮古市 釜石市・大船渡市・陸前高田市へ、震災の復旧・復興の調査目的での行政視察に行ってきました！

3・11の大津波で約2万人弱の尊い生命が失われた事に対して、心よりご冥福をお祈りいたします。全ての財産を飲み込んでしまった東北大震災、深く残した爪痕、私たちは7月11日から12日の二日間をかけて本区品川と災害協定を結んでいる岩手県宮古市や山田町・大槌町・釜石・大船渡市そして陸前高

田市へ、震災の復旧・復興の調査に我が会派7名で行政視察として行って来ました。

早朝6時56分の新幹線で盛岡へ、岩手県北バスにて2時間10分かけて初日の視察場所宮古市市役所に午後1時到着。中里栄輝市議会副議長に迎えられ、約1時間30分程理事者から「震災から今日までの復旧、これからの復興について」の説明を受けました。壊滅的な大打撃を受け苦しんでいる間、品川区や全国からの支援や物資を頂き心より感謝のお言葉を頂きました。23年4月15日に「宮古市復興対策特別委員会」を設置、震災による被害の復旧及び復興に向けて、あらゆる角度から調査・研究・提言等を行う事を目的にしてきた宮古市。「被災者の生活及び地域社会の再建にとって必要な施策の構築」「災害に強い(防災)まちづくりに必要な施策の構築」を目指しての色々な説明をいただきました。市議会では、常任委員会と特別委員会の他に、議員全員協議会なるものもあり、復旧・復興に向け議会と行政と一緒に頑張る姿や意欲を感じました。

2時30分ごろ、多忙を極める山本市長が公務の合間の貴重な時間を割いて頂き、我々7名と話をしました。この日の山本市長の第一印象は、「疲れている」と感じたのは私だけでしょうか?にも拘わらず、丁寧に応対頂きました事に感謝いたします。一向に進まない復興、いや、その前にやらなければいけない準備が思う様に進まないとも感じました。3・11から1年4か月が過ぎた所ですが、ようやく復旧にメドが付いたところ、これから平成31年ごろまでに復興を行うとのこと説明。しかし、街は瓦礫こそ撤去されていますが、雑草が生い茂り鉄筋作りの建物は無残な姿を残したまま立ちすくんでいる状況でした。何度繰り返して見ても、津波の恐ろしさを感じずには居られません。

各市町村の海岸沿いには、「スーパー防潮堤」が設置され、多くの市民はこの防潮堤を信じ切っていたに違いないと思っています。「想定外」と言われた津波、誰がスーパー防潮堤をいとも簡単に超え想像を絶する様な津波が来ると思っていたらどうか。高さ10メートル、幅数メートルの強靱な防潮堤が倒れているところがあり驚きでしたが、不思議なのは陸側ではなく海側になぎ倒されているのです。誰もが思う事でしょうが、津波は押し寄せてくる時に巨大な力がかかると思われがちですが、実は波が引くときの方が押し寄せるより破壊力がある事が解り驚きでした。だから、全てを海に引きずり込んでしまったのでしょうか。

東北地方は今回の大津波は近年では明治30年代?昭和8年そして平成23年と3回の大津波に遭遇しています。行政側は今回こそ高台に街をつくらうと考えているようですが、住民の中には元あった住宅の跡地に掘っ建て小屋やプレハブを建てて今現在住んでいる人がいる事には驚きでした。住民が本当に安心して住めるようになるには、いったいどれ程の時間とお金がかかるのか想像も出来ないぐらい復興が遠く感じます。

これから来るであろう首都直下型地震でどの様な被害が私たちに待ち受けているのか、私たちに出来る事は何かを行政が区民がお互いにしっかりと認識して立ち向かわなければいけない時期に来ているのではないのでしょうか。



JR 東労組 議員懇談会 安全研修会開催！

9月2～3日の二日間、JR東労組の議員懇談会で安全研修として、群馬県は多野郡上野村に有る、「御巣鷹の尾根」へ行って来ました。参議院議員田城かおるさんをはじめ議員8名、計13名の安全研修です。2日に御巣鷹山に登る計画でしたが、あいにくの雨。計画を変更しなければならぬ事態になり、御巣鷹登山は3日になりました。1985年8月12日、悲惨な事故は起きました。今から27年前の事故ですが、当時の事は現在もそしてこれからも忘れる事は決してない事でしょう。521名(胎児1名)の尊い命を奪った事故、何が本当の事故原因なのか?発表では、事故の起る7年ほど前に同機の「しりもち事故」を起こし、機体の歪みも原因の一つになっているらしいそうです。あのような事故にも関わらず、4名の生存者がいたことには驚きました、明るいニュースだったのを覚えています。私たちでも頂上を目指すにはキツイ山登りですが、遺族の皆さんも高齢化してきますし年々厳しい慰霊祭になってきます。日本航空側としても課題の一つとなるでしょう。冗談話ですが、「ロープウェイでも着けなければいけない」と!冗談はさておき、二度と悲惨な事故が起きない様に、安全には十分気付けて頂きたいものです。



「おりがみの会」って何でしょうか?

7月28日、品川区の中小企業センターにて第22回目の「おりがみの会」が開催されました。講師は三須敏子さんとおっしゃる方です。実は、この私が体験してきました。50年ぶりの折り紙で大変緊張し、しかも、ご年配の女性ばかり、この私も少し腰が引けてしまいました。参加費は紙代金を含めて500円の価格、安い!ところで何を折ったのか、気になるでしょう?実は、金魚と提灯を折り紙で折ったのですね~!折り紙で立体的にも、円形に近いものも折れそうですが可能ですかね!大変不思議に思えて仕方が有りません。折れないものはない?と豪語していませんが、大概のものは折れるそうです。実は先日、私が大井駅前演説活動中に三須先生が来られ、頂いたものが何とスカイツリーだったので。へ~、スカイツリーを折り紙でと感心したのです。それがきっかけで今回初参加させて頂きました。いや~、良い事、何かすがすがしい気分になりました。



20周年記念ふれあいビッグバザー!

「一支援あう仲間と、地域の中で、共に働く喜びを大切に」、この言葉をモットーにした「ふれあい作業場」のビッグバザーが7月22日(日)中小企業センターで行われました。障害者の社会参加施設としての役割をしっかりと担って来た「ふれあい作業場」。平成5年に開設し、今年で20周年を迎えての記念すべきバザー開催となったそうです。「ふれあい作業所」の所長・網倉弘子さんに少しお話を頂きました。毎年、「ふれあいまつり」としてミニバザーが行われているようですが、節目ごとのバザー、それが今回のビッグバザーとなったとお聞きしました。多くの商品を区民の皆さんや企業様からご寄附頂いての開催、多くの「ふれあい作業所」作業生のご家族の皆さん、50名程のスタッフのお手伝いを頂き、大盛況に終了する事が出来たそうです。一人でも多くの社会参加が出来るように、職員一同・作業生のご家族・そして私たち全員で力を合わせて頑張っていきたいと思います。



民主・改革ネット

「民主・改革ネット」は、開かれた議会づくりという共通理念のもとに7人が結集した会派です。

〒140-8715 東京都品川区広町2-1-36 議会棟4階
TEL: 03-5742-6814 FAX: 03-5743-2727
URL: <http://m57426814.com/>
E-mail: minsyu.s@titan.ocn.ne.jp

発行責任者: 民主改革ネット
幹事長 石田 慎吾